

## 第3期知床半島ヒグマ管理計画の改定に向けた方針

## 1. ヒグマ管理計画の構成と改定方針

現行計画の目次	改定方針
<p>1. 背景</p> <p>2. 計画の目的</p> <p>3. 計画の位置づけ</p> <p>4. 計画期間</p> <p>5. 対象地域</p> <p>6. 管理計画（第1期）の総括（2017年4月～2022年3月）</p> <p>7. 管理の基本的な考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期計画期間の総括をすすめる。</li> <li>・管理の基本的な考え方（フレームワーク）を精査する。</li> </ul>
<p>8. 計画の目標</p> <p>（1）中長期目標</p> <p>（2）本計画の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床で目指すべき姿を再度認識共有した上で、目標に掲げる項目の見直しを図る。</li> <li>※目指すべき姿の議論には、IP全体計画の参照も検討。</li> </ul>
<p>9. 管理の方策</p> <p>（1）利用者・地域住民に対する指導・啓発。</p> <p>（2）ゾーニング</p> <p>（3）ヒグマの行動段階区分</p> <p>（4）ゾーニングと行動段階区分による管理の方策</p> <p>（5）平時と出没時における管理の方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域毎の特性も踏まえ、目標を達成するためのゾーニング区分やアクションプランの見直しを図る。</li> <li>・岩尾別川のカメラマン対策の動向とも連動。</li> </ul>
<p>10. モニタリング</p> <p>（1）モニタリングの項目及び内容</p> <p>（2）ヒグマの適正管理に必要な調査・研究</p> <p>11. 生息地の保全・再生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成状況の確認、フレームワークによる管理の実現のために必要なモニタリング項目、体制を検討する。</li> </ul>
<p>12. 計画の実施体制</p> <p>（1）実施主体と役割</p> <p>（2）その他の関係団体等との連携</p> <p>（3）計画の進め方</p> <p>13. 計画の点検・見直し</p>	

※青字は時点更新を基本とする。赤字はR6年度に一部見直しを図った箇所。

改定に至るまでの各種会議で議論が想定されるテーマ（素案）（別紙も参照）

<令和8年度>

●第1回知床ヒグマ対策連絡会議

- ・WGの助言を踏まえた目標項目・フレームワークの見直し
- ・「ゾーニング、行動段階に基づく対応内容表」への落とし込み地域案の作成。
- ・住民・観光客アンケート（定期）の実施についての共有

○第1回ヒグマWG

- ・フレームワーク・管理の方策の地域案に関する助言
- ・モニタリングに係る助言

●第2回知床ヒグマ対策連絡会議

- ・WGの助言を踏まえた目標項目及びフレームワークの修正
- ・管理の方策の見直し・地域案作成

○第2回ヒグマWG

- ・住民・観光客アンケート結果の確認
- ・第2期計画期間の総括に向けた方向性の確認
- ・管理の方策地域案への助言

<令和9年度>

●第1回知床ヒグマ対策連絡会議

- ・第2期計画期間の総括案の確認
- ・WGの助言および地域意見を踏まえた各種項目の修正
- ・モニタリング項目・実施体制の確定

○第1回ヒグマWG

- ・第2期計画期間の総括案の検討
- ・各種項目の確認

●第2回知床ヒグマ対策連絡会議

- ・第2期計画期間の総括の最終確認
- ・モニタリングの運用方針も踏まえたフレームワーク最終案の確定
- ・上記を反映した第3期ヒグマ管理計画案の確定

○第2回ヒグマWG

- ・第2期計画期間の総括の確定
- ・フレームワーク最終案の確認
- ・第3期ヒグマ管理計画案の確認

→その後軽微修正等を加える場合はML等で確認を取りながらR10年3月までに確定

※会議回数については必要に応じて追加する場合もあり。

次期計画改定に至るまでの想定スケジュール

	2025(R7)年度												2026(R8)年度												2027(R9)年度												ビジョン		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
(0) 全般事項			●		○	●	●	●	●		○			●		○			●		○				●		○											▲	●: 知床ヒグマ対策連絡会議 ○: ヒグマWG ■: エコツアーWG・検討部会 ▲: 地域連絡会議 ※必要に応じて会議回数は増加
(2) 第2期計画期間の総括																																						住民・観光客アンケート ※時期をずらすか要検討 総括案の作成 WGを踏まえた調整	R8第2回WGで方向性を助言いただき、R9第1回WGに案を提示。第2回WGで確定する。
(3) 目標項目の見直し																																						地域案の作成 WGを踏まえた調整 パブコメでの意見聴取 WG・地域意見を踏まえた調整	R8第2回WGまでに地域案を提示。地域関係者の意見も聴取の上、WGの助言を踏まえてR9第2回WGで確定。
(4) フレームワークの精査																																						一般向けに改良 地域案の作成 個体水準設定・モニタリングの現実的な案の提案、委員との個別意見交換 WG・地域意見を踏まえた調整	地域関係者への意見聴取に向けて、R8第2回WGまでに地域案を作成。地域意見およびWGの助言も踏まえR9第2回WGで確定する。
(5) 管理の方策の見直し																																						羅臼岳人身事故を踏まえた修正 地域案の作成 WG・地域ヒアリングを踏まえた調整	R8第1回WGまでに地域(管理主体)で管理方策の意向を整理。WGや地域の多様な関係者の意見も取り入れ、R9年第2回WGまでに確定。
(6) モニタリングに関する検討																																						個体水準設定・モニタリングの現実的な案の提案、委員との個別意見交換 (必要に応じて)モニタリングの試行 モニタリング項目・体制の検討	目標項目や管理方策に関する議論を踏まえ、R8第1回WG以降に方針を固める。それ以前に行政機関の予算、現場の体制等を踏まえた現実的な案を整理の上、WG以外の場で委員に個別相談をしておく。